



# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【11月号】

クラブ名	NPO法人 くだまつ絆星スポーツクラブ	訪問日	11月23日	訪問者	宮田 大樹
訪問詳細	<p>今回は、NPO法人くだまつ絆星スポーツクラブの「トップアスリートによる陸上教室」の様子を伺ってきました。2016さいたま国際マラソンで5位の成績を残した、那須川瑞穂氏を講師に招き、午前中を小学生の部、午後を中高生一般の部に分け、約80名参加のもと開催されました。下松市陸上競技協会と徳山大学陸上部に指導補助の協力を依頼することで、スタッフを確保し、安全面にも配慮されていました。参加者からは、「丁寧な指導で分かりやすかった」「難しい動きもあったけど楽しかった」という声も聞かれ、有意義な時間が過ごせたようです。</p> <p>今回の陸上教室は、下松市の地域スポーツ人口拡大推進事業の委託を受けて開催されたもので、7月にも同様に卓球教室を開催しています。今回のような委託をきっかけに下松市とさらなる連携・協力体制を構築し、地域スポーツの普及に努めることで、地域に求められるクラブとなっていくことが期待できるのではないのでしょうか。</p>				

クラブ名	コミュニティクラブ東亜	訪問日	11月18日	訪問者	枳本 祥子
訪問詳細	<p>今回は、コミュニティクラブ東亜のCCT祭りに伺いました。今年で13回目のこのイベントは、設立当初から開催されています。コミュニティクラブ東亜では、指導者部会、スポーツ部会、文化部会、広報部会、ふれあい部会があり、今回のイベントは、ふれあい部会が運営をしています。会員同士の交流、1年間の成果を発表する場としており、総勢約200名の方が参加していました。午前中に運動系教室、午後から文科系教室の発表が行われ、手作り同好会、生け花教室、絵画教室の作品の展示もありました。各教室の発表の際には、だれでも参加できる時間が設けられ、参加者全員が楽しめるように工夫されていました。参加者からは、「興味があった種目を体験することができて良かった」、「楽しい1日になった」という声がありました。会員の皆さんがはつらつとしている姿がとても印象的で、CCT祭りで発表する機会があることで、日頃の活動への意欲も高まるだろうと想像できました。みんなで創る、支えあう、コミュニティクラブ東亜の活動に今後も注目していきたいと思います。</p>				



## ☆レッツ！オリ・パラ☆

ハンドボールは、「走る」「跳ぶ」「投げる」という運動の基本3要素に加え、格闘技のようなボディコンタクトが含まれる総合スポーツです。1チーム7人で、1人がゴールキーパー、6人がパスとドリブルでボールをつなぎ、相手のゴールを目指します。選手がジャンプをしながら全身のバネを使ってシュートを放つ場面には迫力があり、多彩な個人技やオフェンス(攻撃)とディフェンス(守備)の激しい攻防、頭脳的な連携やスピーディな試合展開など、とても魅力あるスポーツです。

ボールのサイズは直径19センチメートル(女子18センチメートル)で、その大きさのボールを素手でつかむのは、オリンピック選手でも簡単ではありません。選手たちがいとも簡単に片手でボールをつかんでいるように見えるのは、ハンドボール専用の粘着性のある松やにを手に塗っているため、ボールが手にくっつき片手でつかむことができるからです。

岩国市で活動している総合型クラブのIDBスポーツクラブ出身である徳田新之介選手(筑波大学4年)は、現在日本代表に選出されており、世界選手権やアジア選手権で活躍しています。まだ21歳と若い徳田選手。今後のさらなる活躍に注目です！

2020年  
東京オリンピックまで

**967**日

※平成29年11月30日現在